

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和8 年 2 月 20 日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民

17 番議員 氏名 林 美行

質問題名	地域通貨を考える時期に来ているのではないか
質問要旨	<p>行政を含めて急速に進む情報化社会に対応できる総合的な市民生活基盤整備づくりを進める起爆剤になる。</p> <p>市民参加型の支え合い（新しい共助）型自治体へ移行する背景づくり。</p> <p>市民全体でのリカレント教育の現場づくり。</p> <p>地域内での経済循環を強化するきっかけづくり。</p> <p>生活に関する新しい分野での起業が多様に発生させるプラットフォームを形成できる。</p> <p>地域通貨という視点で以上のような効果のある基盤づくりが可能となる。</p>
質問項目①	市民参加型の支え合い（新しい共助）型自治体へ移行する背景が作れる。
質問項目②	革命的に急速に進む情報化社会に対応する市民意識の醸成とスキルアップ いわゆる市民全体でのリカレント教育の現場づくり ができる。
質問項目③	地域内での経済循環を強化するきっかけづくりと出来るのではないか。そのことで、生活に関する新しい分野での起業が多様に発生させるプラットフォームを形成することができる。
質問項目④	派生的効果としては、地域通貨という視点で市民の理解がいただけるアプリがあれば今回の物価高対応給付金などの給付コストも下げられる。
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、企画部長